

■ アンケート調査の概要

1. 目的

利用者となる子どもの声を聞く目的で、新しい複合施設でやってみたいことを尋ねる。

2. 対象者

日野第一小学校
日野第一中学校
の全児童生徒（約1,100人）

3. 実施日

令和7年7月中旬

4. 設問項目

- ①現施設（図書館、公民館、児童館）の利用経験の有無
- ②新しい複合施設でやってみたいこと
※8つの選択肢から3つまで選択可
※小学校、中学校ともに意味は同じ設問

新しい複合施設に関するアンケート 回答用紙

1. あなたは、ひの児童館、中央公民館、日野図書館にこれまで行ったことがありますか？どちらかに○をつけてください。

ある

ない

2. 新しくできる、児童館、公民館、図書館が一体となった「複合施設」で、あなたがやってみたいことについて、以下から最大3つまで選び、○をつけてください

1. 自習や読書ができる

2. 友人とおしゃべりできる

3. 音楽の練習ができる

4. 軽い運動ができる

5. タブレットなどが使える

6. 多様な人と交流できる

7. 一人で静かに過ごせる

8. 軽食がとれる

1

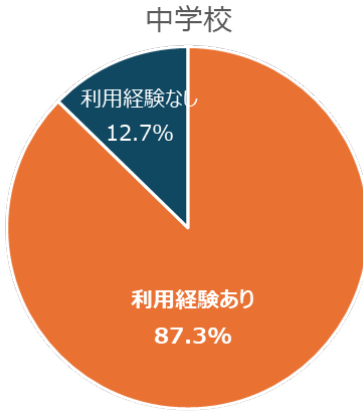
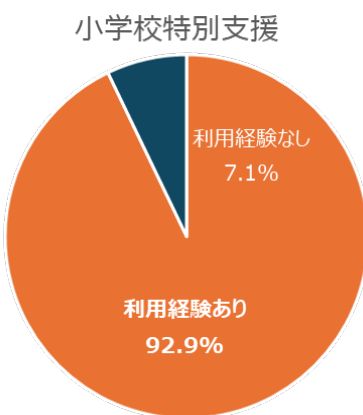
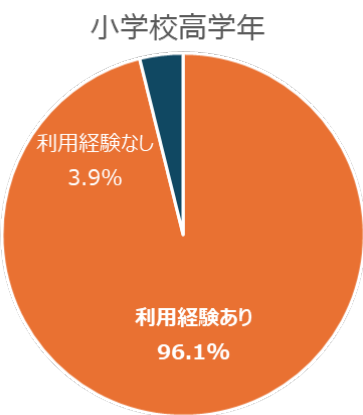
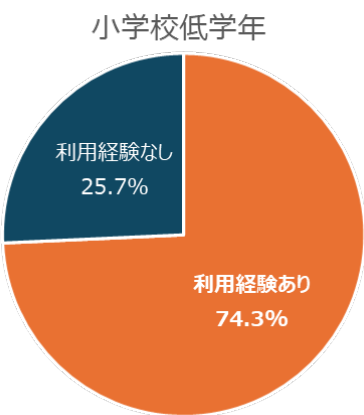
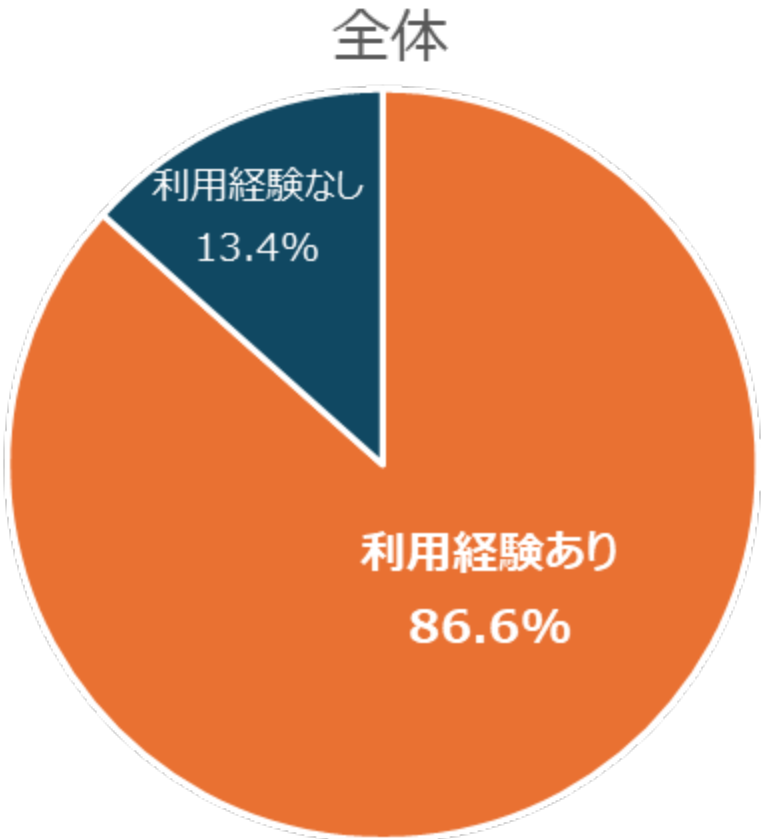
■ アンケート調査結果

1. 有効回答数

対象	有効回答数
全体	1,067
小学校低学年（1年～3年）	210
小学校高学年（4年～6年）	207
小学校特別支援学級	28
中学校	622

2. 設問1 施設（図書館、公民館、児童館）の利用経験

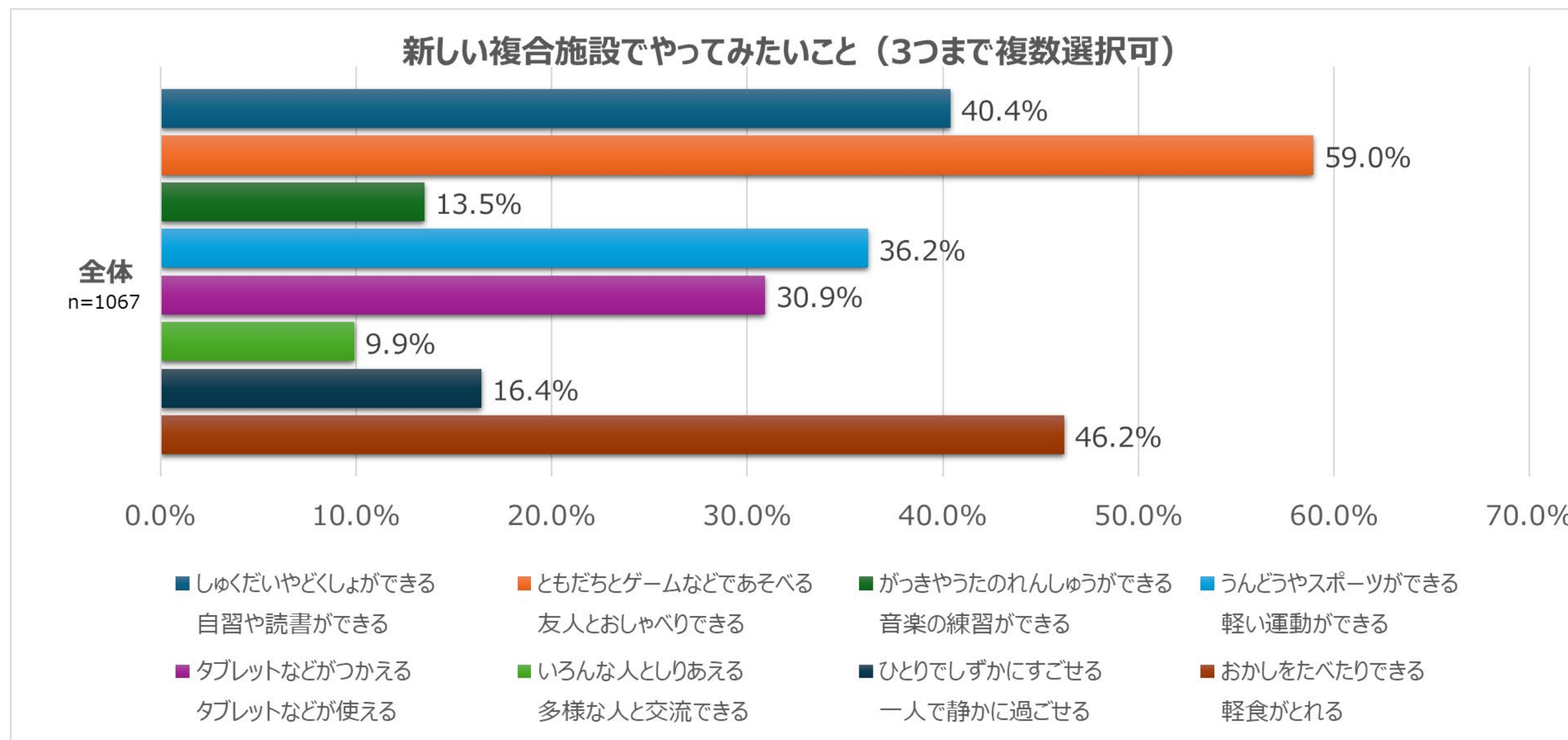
- ✓ 全体で約**87%の児童・生徒が、施設の利用経験が「ある」と回答**している。
- ✓ 中学生は小学校区より広い範囲（学区）にあるが、利用経験者が約87%であった。
- ✓ 現在の図書館、公民館、児童館ともに、**地域の子どもたちの大半に認知され、利用されている**ことがわかった。



■ アンケート調査結果

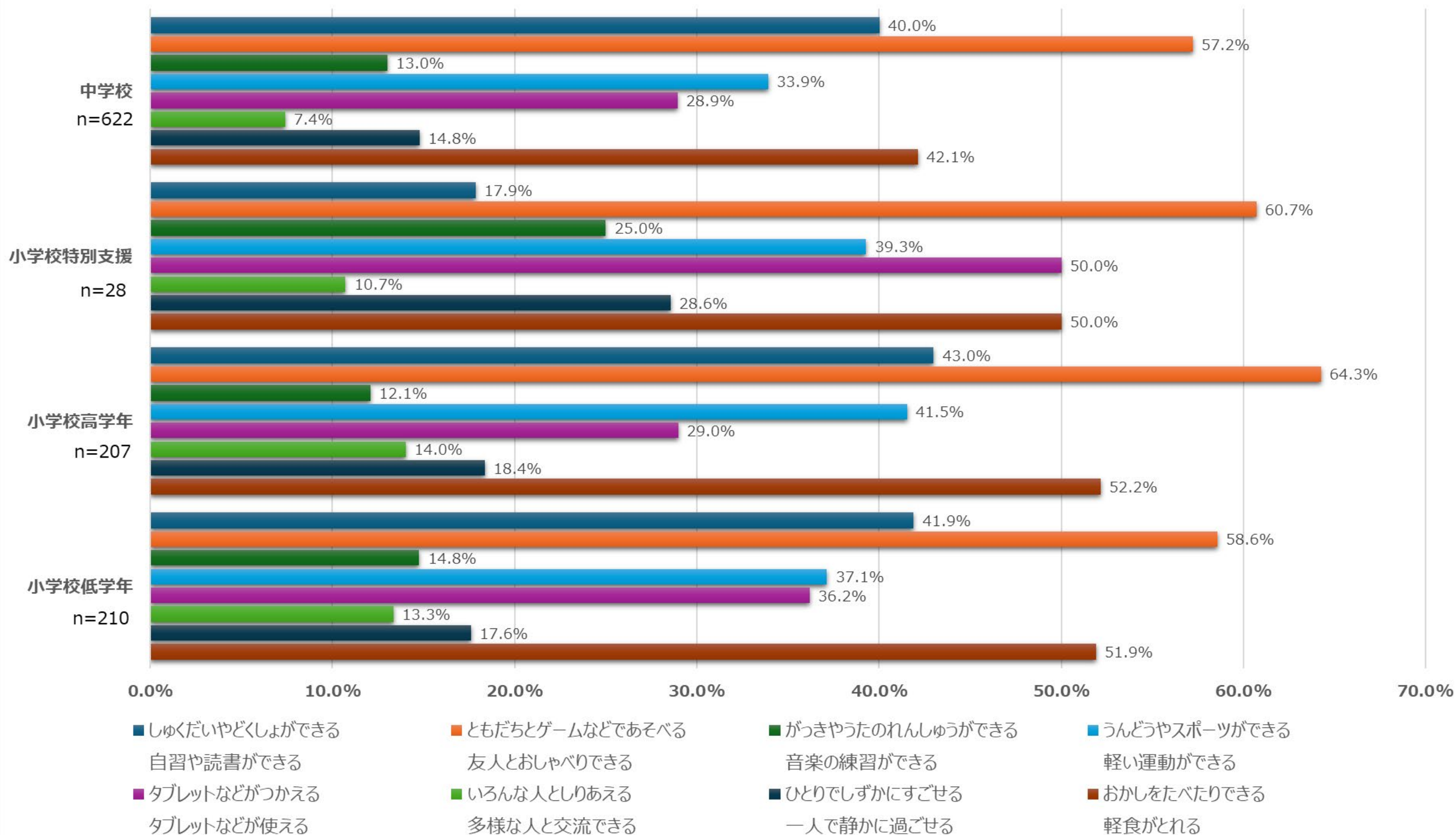
3. 設問2 新しい複合施設でやってみたいこと

- ✓ 「友人との遊びやおしゃべり」が最も多く、次いで「飲食」、「勉強（自習）・読書」となった。
- ✓ 飲食を除けば、**来訪の目的は「遊び（運動などを含む）」と「学習（自習含む）」に、大きく二分化されるものと考えられる。**
- ✓ 年代別で比較したところ、**傾向に大きな差は見られなかった（全世代同様の回答傾向）**



新しい複合施設でやってみたいこと（3つまで複数選択可）

全有効回答数 n=1067



- ✓ 選択肢（3つまで選べる）の選択傾向をみたところ、以下のことがわかった。
- ①レクリエーション（軽い運動ができる、タブレットが使えるなど）を選択した被験者は、友人
同士で遊ぶ利用形態を志向している（黄色の部分）
- ②一人で静かに過ごすことを選択した被験者は、学習目的を志向している（青色の部分）

小学校低学年		選択①が選択された場合の、他の選択肢の選択率							
		しゅくだいやどくしょがで きる	ともだちとゲームなどであ そべる	がっきやうたのれんしゅう ができる	うんどうやスポーツができ る	タブレットなどがつかえる	いろんな人としりあえる	ひとりですずかにすごせ る	おかしをたべたりできる
選 択 肢 ①	しゅくだいやどくしょができる		35.6%	16.7%	34.4%	18.9%	17.8%	23.3%	41.1%
	ともだちとゲームなどであそべる	25.8%		8.1%	35.5%	42.7%	6.5%	8.1%	62.1%
	がっきやうたのれんしゅうができる	45.5%	30.3%		27.3%	18.2%	15.2%	24.2%	33.3%
	うんどうやスポーツができる	38.8%	55.0%	11.3%		28.8%	15.0%	11.3%	33.8%
	タブレットなどがつかえる	21.8%	67.9%	7.7%	29.5%		7.7%	12.8%	50.0%
	いろんな人としりあえる	53.3%	26.7%	16.7%	40.0%	20.0%		23.3%	36.7%
	ひとりですずかにすごせる	53.8%	25.6%	20.5%	23.1%	25.6%	17.9%		28.2%
	おかしをたべたりできる	18.9%	69.4%	9.9%	24.3%	35.1%	9.9%	9.9%	

小学校高学年		選択①が選択された場合の、他の選択肢の選択率							
		しゅくだいやどくしょがで きる	ともだちとゲームなどであ そべる	がっきやうたのれんしゅう ができる	うんどうやスポーツができ る	タブレットなどがつかえる	いろんな人としりあえる	ひとりですずかにすごせ る	おかしをたべたりできる
選 択 肢 ①	しゅくだいやどくしょができる		40.0%	14.4%	28.9%	18.9%	8.9%	26.7%	50.0%
	ともだちとゲームなどであそべる	26.9%		6.7%	41.8%	32.8%	11.2%	6.7%	53.7%
	がっきやうたのれんしゅうができる	50.0%	34.6%		34.6%	15.4%	11.5%	23.1%	30.8%
	うんどうやスポーツができる	29.9%	64.4%	10.3%		14.9%	11.5%	11.5%	43.7%
	タブレットなどがつかえる	27.9%	72.1%	6.6%	21.3%		9.8%	9.8%	37.7%
	いろんな人としりあえる	27.6%	51.7%	10.3%	34.5%	20.7%		17.2%	27.6%
	ひとりですずかにすごせる	61.5%	23.1%	15.4%	25.6%	15.4%	12.8%		33.3%
	おかしをたべたりできる	21.8%	65.5%	7.3%	34.5%	20.9%	7.3%	11.8%	

小学校特別支援		選択①が選択された場合の、他の選択肢の選択率							
		しゅくだいやどくしょがで きる	ともだちとゲームなどであ そべる	がっきやうたのれんしゅう ができる	うんどうやスポーツができ る	タブレットなどがつかえる	いろんな人としりあえる	ひとりですずかにすごせ る	おかしをたべたりできる
選 択 肢 ①	しゅくだいやどくしょができる		40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%
	ともだちとゲームなどであそべる	11.8%		23.5%	35.3%	47.1%	0.0%	17.6%	58.8%
	がっきやうたのれんしゅうができる	28.6%	57.1%		14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%
	うんどうやスポーツができる	9.1%	54.5%	9.1%		27.3%	0.0%	45.5%	45.5%
	タブレットなどがつかえる	14.3%	57.1%	14.3%	21.4%		14.3%	21.4%	50.0%
	いろんな人としりあえる	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%		33.3%	33.3%
	ひとりですずかにすごせる	0.0%	37.5%	12.5%	62.5%	37.5%	12.5%		25.0%
	おかしをたべたりできる	0.0%	71.4%	0.0%	35.7%	50.0%	7.1%	14.3%	

※50%以上選択されたものに色づけ

- ✓ 中学生になると、選択傾向がはっきり現れるようになっているが、**友人同士でのグループ学習（自習）にもニーズがある**ことがうかがえる。

中学校		選択①が選択された場合の、他の選択肢の選択率							
		自習や読書ができる	友人とおしゃべりできる	音楽の練習ができる	軽い運動ができる	タブレットなどが使える	多様な人と交流できる	一人で静かに過ごせる	軽食がとれる
選択肢①	自習や読書ができる		53.2%	12.3%	27.9%	27.5%	8.2%	22.3%	35.3%
	友人とおしゃべりできる	38.2%		14.7%	38.2%	24.6%	10.7%	12.8%	38.2%
	音楽の練習ができる	36.3%	60.4%		28.6%	19.8%	12.1%	13.2%	31.9%
	軽い運動ができる	33.2%	63.3%	11.5%		21.2%	10.6%	10.2%	38.1%
	タブレットなどが使える	37.6%	46.7%	9.1%	24.4%		7.6%	16.2%	42.6%
	多様な人と交流できる	37.9%	69.0%	19.0%	41.4%	25.9%		13.8%	22.4%
	一人で静かに過ごせる	57.7%	46.2%	11.5%	22.1%	30.8%	7.7%		28.8%
	軽食がとれる	21.8%	52.0%	10.5%	31.3%	30.5%	4.7%	10.9%	

※50%以上選択されたものに色づけ

- ✓ 以上より、子どもの利用ニーズ・目的は「遊び・レクリエーション」と「学習」に二分されて、主に以下のような利用が想定される。
 - ①**友人同士での遊び、レクリエーションを目的とした利用（年代問わず）**
 - ②**自習や読書を目的とした単独利用（年代問わず）**
 - ③**友人同士でのグループ学習（自習や読書）を目的とした利用（主に中学生）**
- ✓ ①は児童館（遊び）や複合施設共用空間（友人同士のおしゃべりなど）で担うべき機能で、児童館の中学生の利用促進を図るか、複合施設共用空間での談話空間の充実が求められる。
- ✓ ②は図書館（読書）や複合施設共用空間（自習）で担うべき機能で、特に**これまでなかった自習（単独利用、グループ利用）のニーズに応える空間**が求められる。
- ✓ 飲食のニーズも一定あるが、カフェなどの飲食提供機能よりも、弁当や菓子などの持ち込み品の喫食可能スペースを設定することが有効と考えられる。